

企画調整部

サマーレビュー2012 調書

1 部局名・区名(課名)	企画調整部 産業部 土木部	(企画課) (産業振興課・観光交流課) (土木総務課・道路課)	2 優先順位	指示 1
3 事項名	わかりやすい公共サイン整備促進について			
4 目的	本市への来訪者等に対する一層のおもてなし態勢の充実及び利便性の向上を図るため、公共サインの整備を促進することを目的とする。			
5 現状及び課題	①新東名高速道路の供用開始に伴い、本市への来訪者が増加しており、案内標識の充実が必要となっている。 ②JR 浜松駅周辺都心の公共サインが、日本語・ポルトガル語・英語表記の公共サインが設置されているが、中国、韓国からの来訪者を対象とした表記はなされていない。広く国内外からの来訪者を受け入れるためにも、ソフト・ハード両面の取り組みが求められている。			
6 事業概要	上記の課題に対応するため、早期に公共サインの整備を図る。そのため、それぞれのプロジェクトチームを発足し、整備プロジェクトを推進する。			
7 関係法令等				
8 想定されるスケジュール	平成 24 年度 7～8 月 設置場所の調査、標記内容、デザインの決定 など 7 月下旬 9 月補正予算要求 12 月上旬 平成 25 年度当初予算要求 ～平成 26 年度まで			
9 他都市等の参考事例	・静岡県は、平成 21 年度に富士山静岡空港の開港を契機とし、観光目的で訪れる道路利用者に対し、わかりやすい案内誘導を目的とした著名地点誘導標識（茶看板）を整備している。 ・静岡市 JR 静岡駅周辺の公共サインにおいては、日本語、英語に加えて、中国語、韓国語による整備が進められている（平成 23～27 年度 実施予定）。			
10 過去のサマーレビュー等での審議経過	■なし(新規提案) □あり □その他	具体的内容		
11 サマーレビューで審議、確認したい事項 (該当項目を□→■)	■事業等の新規提案 □既存事業の見直し □その他	具体的内容 ・道路案内標識、著名地点誘導標識の設置について。 ・JR 浜松駅周辺都心の公共サイン多言語化について。		
12 サマーレビュー結果 (実施後記載。該当項目を□→■)	■提案どおり進める □提案内容を一部見直して進める □再度、調査研究等を行い検討 □その他	具体的内容 公共サインの整備を速やかに進めるとともに、コスト意識を持って縮減方法などを検討する。		

わかりやすい道路案内標識の整備促進について

土木部 道路課

1 事業の目的

新東名高速道路・三遠南信自動車道の開通に伴い、本市への観光を中心とした来訪者等に対する案内誘導の強化・充実を図ることを目的に、わかりやすく景観に配慮した道路の経路案内標識と観光エリア等を案内する著名地点誘導標識を整備する。

2 現状と課題

(1) 現状

- ・隣接県内や周辺市町村合併に伴う地域の広域化に対して、本市の道路案内標識等の表示内容が現状に即していない箇所（約 1,000 箇所）がある。
- ・静岡県では、“おもてなし満足度日本一”のしずおかづくりを目指すことを目的に、平成 19 年度に「しずおか公共サイン整備ガイドライン」を策定し、平成 20 年度には「地域別公共サイン整備行動計画（指定都市を除く。）」を策定するとともに、平成 25 年度までの整備目標で現在、整備事業を実施中である。
- ・本市においても、同計画を参考に平成 22 年度「浜名湖周辺地域公共サイン整備行動計画（案）」の作成を進めたが、観光エリア等を案内する著名地点誘導標識の取扱いについて、関係部課で調整が取れないために計画は確定していない。

(2) 課題

- ・新東名 I C 等を誘導する案内標識の整備 → 6/29 中日本高速道路(株)に要望済
- ・新東名高速道路の開通に伴う本市への観光を中心とした来訪者等に対し、道路の経路案内標識の適正化による案内誘導の強化・連携。
- ・新東名 I C 等から市内主要観光エリアへ向う著名地点誘導標識の整備。
- ・観光エリア内の個別の著名地点標識（単独型）の整備。
- ・整備と管理についての庁内協力体制の確立。

3 整備の方針

(1) 道路の経路案内標識の整備（青看板 ※1）

- ・案内の統一性と連続性を確保した目標地と主要著名地点の設定見直しを行った結果、約 1,000 箇所の修正必要箇所がある。このうち、主要な観光ルート上にある道路の経路案内標識 172 枚の整備を平成 26 年度までに実施する。

※1 青看板とは、出発地から目的地までの経路を案内する道路案内標識のこと。「標識令」に基づくもので、青色地に白文字等。

(2) 著名地点誘導標識（集合型）の整備（茶看板 ※2）

- ・景観に配慮した色彩を標識柱に採用して、地域毎の観光エリアを案内する著名地点誘導標識（集合型）54 枚の整備を平成 26 年度までに実施する。

※2 茶看板とは、静岡空港の開港を契機として、観光エリアへの案内誘導強化を目的に法定の看板を補完するため、「しずおか公共サイン整備ガイドライン」で県が独自に導入した案内標識のことで、茶色地に白文字等。県は道路管理者が設置。

4 整備スケジュール

企画課・観光交流課・土木総務課・道路課のプロジェクトチームで連携し、短期・集中的に公共サインの整備促進を図る。

平成 24 年度									平成 25 年度
7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
		9 月 補正 予算 要求							
検討作業 (設置内容等)		公共サイン整備工事 (関係機関協議・調整)						公共サイン 整備工事	

●適正化が図られた経路案内標識 (例) (青色地に白文字等)



修正 (前)

修正 (後) 目標地適正化



輝度全面経年劣化 (カプセルレンズ板)



高輝度全面更新 (広角プリズム板)

→

●著名地点誘導標識「集合型」(例) (茶色地に白文字等)



(支柱は、景観に配慮したブラウン系塗装)

●本市の観光エリア標示イメージ図
(仮称) 奥浜名湖エリア



(仮称) 浜北・天竜エリア



J R 浜松駅周辺都心部公共サイン整備事業について

産業部 産業振興課

1. 事業の目的

国内外からの来訪者の主要な玄関口である J R 浜松駅周辺地域において、受入体制の充実を図り、交流人口の拡大を推進するため、今後のインバウンド戦略において最も来訪が期待される東アジア地域（中国・韓国）からの観光客等にも対応した「歩行者用公共サイン」の整備を進める。

2. 現状と課題

現在、J R 浜松駅周辺の都心部には、日本語・ポルトガル語・英語表記の公共サインが設置されているが、中国、韓国等の外国人観光客を対象とした表記はなされていない。インバウンド施策としてとして広く国内外からの観光客を受け入れるためにも、行政部門のみならず民間部門にもソフト・ハード両面の取り組みを求めていく。

3. 整備方針

本事業の推進にあたっては、商業者や事業者、浜松商工会議所や(財)浜松まちづくり公社などの関連団体から構成される浜松市中心市街地活性化協議会を中心に、浜松まちなかにぎわい協議会や観光振興団体、商業者・事業者も含めた官民協働により検討を進める。

① 整備エリア

多言語化表記が必要な公共サインについて、以下 3 つのエリアについて集中的な整備を行う。

- A. J R 浜松駅周辺エリア（観光客にとって浜松の玄関口）
- B. 都心部商業エリア（浜松駅から浜松城までの動線・街なかへの誘導）
- C. 歴史的・文化的な主要施設（浜松城・アクトシティ浜松・楽器博物館）

② 整備スケジュール

浜松市中心市街地活性化協議会等の民間部門と協働して整備の内容・優先順位等を検討し、整備実施する。

図表 1_公共サイン多言語化の整備スケジュール（案）

平成 24 年度									平成 25 年度
7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
検討作業 ・活性化協議会 ・庁内		9 月 補正	多言語化 更新整備						※多言語化 更新整備

4. 都心部の公共サインの現状

都心部の公共サインの設置状況は下表のとおりである。

図表 2_都心部の公共サインの設置状況（既設分）

種類	設置箇所	設置数
J R 浜松駅北口 B 階段シェルター付設サイン	J R 浜松駅北口	1
バスターミナル地下案内サイン	バスターミナル	100
歩行者案内サイン・小拠点 (周辺地図 1 枚)	〃	38
歩行者案内サイン・中拠点 (周辺地図 1 枚・市街地地図 1 枚)	〃	16
歩行者案内サイン・大拠点 (中拠点の地図 2 枚 + 広域地図)	J R 浜松駅 南口・北口	2
矢羽式サイン	都心部各所	54
地下道案内サイン	都心部各所	25
その他 (観光インフォメーション)	—	2
循環まちバス「くるる」	—	4
音声誘導サイン	都心部各所	17
路面誘導サイン	〃	37
民間施設 (J R 東海・遠鉄・タクシー協会等)	—	—

図表 3_都心部に設置されている各種公共サイン



5. 多言語化の内容

公共サインの多言語化については以下の五ヶ国語を基本とする。

※ 町名・通り名称についてはローマ字表記とする。

図表 4_多言語化の言語候補

①日本語 ②英語 ③ポルトガル語 ④中国語（簡体語）⑤韓国語

6. 更新作業

公共サインを整備する都心部は建物名称等の変更頻度が高く、誤った情報の提供を避けるためにも定期的な更新が必要である。このため、3年から5年のサイクルで掲載情報の更新を行うため、都心部公共サイン多言語化整備担当者会議を開催し公共サインの更新作業を行うこととする。